

- 問1 長野県白馬村における2015年から2019年にかけての外国人観光客の延べ宿泊者数の動向について、統計上の変化を説明したものとして最も適切なものを次の中から選びなさい。 (2022年 神奈川県公立入試 類似)
- | | | | |
|---|--|---|--|
| 1. ヨーロッパからの延べ宿泊者数は、2015年から2019年にかけての5年間、前年を下回ることなく毎年連続して増加し続けている。 | 2. 2015年と比較して2019年は調査された全地域で宿泊者数が増加しており、特にオセアニアからの宿泊者は5万件台から17万件台へと3倍以上の大幅な伸びを見せている。 | 3. 調査が開始された2015年時点において、アジア、北アメリカ、ヨーロッパ、オセアニアの全地域を合計した延べ宿泊者数は、すでに15万人を超えていた。 | 4. アジア地域からの延べ宿泊者数は、増加の割合においてオセアニア地域を大きく上回り、全地域の中で最も高い成長率を記録している。 |
|---|--|---|--|
- 問2 中部地方のある都市の統計において、1月の平均気温がマイナス0.4度、7月の平均気温が23.6度となっています。また、降水量は1月が35.9mmと非常に少なく、7月は138.4mmとなっています。長野県などの内陸部で見られるこのような気候区分を何と呼びますか。 (2022年 福岡県公立入試 類似)
- | | | | |
|------------|-----------|------------|------------|
| 1. 日本海側の気候 | 2. 瀬戸内の気候 | 3. 中央高地の気候 | 4. 太平洋側の気候 |
|------------|-----------|------------|------------|
- 問3 日本の農業において、長野県などの高冷地で生産が盛んな「レタス」の生産・流通に関する記述として正しいものはどれですか。 (2018年 千葉県公立入試 類似)
- | | | | |
|--|--|---|--|
| 1. 大消費地である東京に隣接しているため、トラックによる短時間の輸送で鮮度を保って出荷される。 | 2. 冬の温暖な気候を利用した促成栽培により、暖房費用を抑えて冬から春に出荷される。 | 3. 夏の涼しい気候を利用した抑制栽培により、他の産地の出荷が減る時期に市場へ供給される。 | 4. 水はけの良い火山灰地が広がっているため、夏でも乾燥に強い品種として生産されている。 |
|--|--|---|--|
- 問4 本州の中央部に位置する内陸県の一つで、県の一部に飛騨山脈（北アルプス）などの峻険な山々が連なり、富山県の五箇山とともに「合掌造り集落」がユネスコの世界文化遺産に登録されている県はどこですか。 (2024年 長崎県公立入試 類似)
- | | | | |
|--------|--------|--------|--------|
| 1. 長野県 | 2. 群馬県 | 3. 山梨県 | 4. 岐阜県 |
|--------|--------|--------|--------|
- 問5 近代日本の長野県において、製糸業が地域の主要な産業として発展した背景や地理的要因を説明したものとして、最も適切なものはどれですか。 (2018年 神奈川県公立入試 類似)
- | | | | |
|--|---|---|---|
| 1. 鉄道網の整備により、日本海側から運ばれる石炭を燃料とした重化学工業が内陸部で発展したから。 | 2. 冷涼な気候を利用した茶の栽培が盛んになり、輸出用の茶葉を加工する拠点として発達したから。 | 3. 外国から輸入した安価な綿花を加工し、大量の綿織物を輸出するための大規模な工場が集まったから。 | 4. 水田に適さない山間部の傾斜地などを活用して、原料となるカイコの餌の栽培と養蚕が行われたから。 |
|--|---|---|---|
- 問6 石川県の伝統的工芸品である「九谷焼」と「輪島塗」の特徴について説明した文として、最も適切なものを選択してください。 (2020年 愛知県公立入試 類似)
- | | | | |
|---|---|--|---|
| 1. 九谷焼は色鮮やかな絵付けを施した陶磁器であり、輪島塗は堅牢な塗りと美しい装飾を特徴とする漆器である。 | 2. 九谷焼は木目を生かした幾何学的な模様が特徴の木工品であり、輪島塗は熱帯の気候に適した通気性の良い織物である。 | 3. 九谷焼は鉄を主原料とした重厚な鋳物であり、輪島塗は和紙を何層にも重ねて作られる和傘である。 | 4. 九谷焼は薄く透明感のあるガラス細工であり、輪島塗は竹を細かく編み込んで作られる丈夫な容器である。 |
|---|---|--|---|
- 問7 北陸地方など、冬にシベリア方面から吹き付ける冷たく湿った季節風の影響を強く受ける地域について述べた文章として、最も適切なものを選んでください。なお、この地域では12月や1月の降水量が非常に多く、気温が0度近くまで下がることが統計で示されています。 (2020年 茨城県公立入試 類似)
- | | | | |
|--|---|--|---|
| 1. 冬は積雪が多く屋外での農作業が困難になるため、家の中で行う副業として手仕事が発達した。 | 2. 台風による被害を受けやすい時期と農作業が重なるため、風を防ぐための高い生垣を作る文化が発達した。 | 3. 冬は太平洋側からの季節風によって乾燥した晴天が続くため、大規模な灌漑施設の整備が発達した。 | 4. 夏に発生する冷害を避けるために、冬の間の積雪を保存して冷房として利用する産業が発達した。 |
|--|---|--|---|
- 問8 北陸地方のように、冬季に降水量が多く積雪が厳しい地域において、輪島塗や小千谷ちぢみといった伝統産業が発達した主な理由として適切なものはどれですか。 (2023年 岐阜県公立入試 類似)
- | | | | |
|--|--|---|--|
| 1. 乾燥した冬の空気が、漆の乾燥や布の染色を定着させるのに最も適していたから。 | 2. 広大な森林から得られる豊富な木材を、冬の間にソリを使って容易に運び出せたから。 | 3. 冬の間は積雪によって農作業ができないため、屋内で行える手作業を副業として進めたから。 | 4. 雪解け水を利用した水力発電が早期に普及し、機械による大量生産が容易だったから。 |
|--|--|---|--|
- 問9 中部地方の工業地域のうち、富山県などを含む北陸地方の工業的特徴について述べた文として、正しいものはどれですか。 (2025年 福岡県公立入試 類似)
- | | | | |
|--|--|---|--|
| 1. かつては豊富な電力を利用した金属工業などが発達し、現在も化学工業や金属工業の割合が比較的高い。 | 2. 出荷額の大部分を輸送用機械が占めており、特に自動車の生産額が全国でも突出している。 | 3. 印刷業や食料品工業など、都市型工業の割合が他の工業地域よりも非常に高い。 | 4. 古くから繊維工業が盛んであったが、現在はバイオテクノロジーを用いた食料品製造が産業の9割を占める。 |
|--|--|---|--|
- 問10 北陸地方において日本海側に大きく突き出した能登半島の先端付近には、国の伝統的工芸品である「輪島塗」の産地があります。この産地が位置する都道府県はどれですか。 (2019年 北海道公立入試 類似)
- | | | | |
|--------|--------|--------|--------|
| 1. 福井県 | 2. 新潟県 | 3. 石川県 | 4. 富山県 |
|--------|--------|--------|--------|
- 問11 中部地方の地形の特徴を説明した文章として、飛騨山脈・木曽山脈・赤石山脈の3つの山脈の関係性が正しく述べられているものを選びなさい。 (2024年 長野県公立入試 類似)
- | | | | |
|---|---|--|--|
| 1. 東北地方から続く奥羽山脈が長野県に入ると、飛騨山脈、木曽山脈、赤石山脈の3つに枝分かれする。 | 2. 飛騨山脈、木曽山脈、赤石山脈の3つを合わせて日本アルプスと呼び、長野県を囲むように位置している。 | 3. 飛騨山脈と越後山脈の間に赤石山脈が位置しており、これらは北アルプスと呼ばれている。 | 4. 木曽山脈と赤石山脈は関東地方に位置し、飛騨山脈だけが長野県に位置している。 |
|---|---|--|--|
- 問12 ある都道府県の産業について、農業産出額では米の産出額に比べて野菜の産出額が約3倍と高く、イチゴなどの栽培が盛んである一方、製造品出荷額等が約17兆円にのぼり、工業が極めて盛んであるという特色を持つ県を選んでください。 (2022年 岡山県公立入試 類似)
- | | | | |
|--------|--------|--------|--------|
| 1. 北海道 | 2. 宮城県 | 3. 新潟県 | 4. 静岡県 |
|--------|--------|--------|--------|